北九州工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	社会特論（一般総合選択）

科目基礎情報

科目番号	0191	科目区分	一般 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	制御情報工学科	対象学年	4
開設期	前期・後期	週時間数	4
教科書/教材	使用しない		
担当教員	長谷川 洋史		

到達目標

1.人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観点から理解できる。
2.日本の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的観点から理解できる。
3.日本史と世界史の本質と技術・経済的側面を理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観観点から十分に理解できる。	人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観観点からほぼ理解できる。	人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、歴史的観観点から理解できない。
評価項目2	日本史と世界史の本質と技術・経済的側面を十分に理解できる。	日本史と世界史の本質と技術・経済的側面をほぼ理解できる。	日本史と世界史の本質と技術・経済的側面を理解できない。
評価項目3	近代社会の成立過程とその歴史的位置付け、産業革命の歴史的意義を十分に理解できる。	近代社会の成立過程とその歴史的位置付け、産業革命の歴史的意義をほぼ理解できる。	近代社会の成立過程とその歴史的位置付け、産業革命の歴史的意義を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	「私たちの生きる現代社会の原点となる近代社会 (工業社会・市場経済社会・資本制社会) とは、いかなる過程で生まれ、それは人類史上いかなる位置付けにあるのか?」ということの基本的理解を深めたい。 また、北九州は、弥生期では水稲耕作発祥となった遠賀川沿岸の立屋敷遺跡、近現代期では「日本の鉄の世界」を象徴する、戦前アジアで初めての銑鋼一貫工場となった八幡製鉄所など、大きな歴史的意義を持つ事跡が多数存在する。そうした北九州の産業的特質の理解も深めたい。特に、「鉄の技術史」に関しては毎回少しずつ連続して紹介していきたい。
授業の進め方・方法	写真・パネルを多用してビジュアルで理解しやすい授業にしてゆく。
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100